

特集

レザックシリーズ キャンペーン

ただいま、レザックシリーズキャンペーン中です!!!

日増しに暖かくなってまいりましたが、みな様は、いかがお過ごしですか。

さて、当社では、ただいまレザックシリーズのキャンペーン中です。期間は、4月31日までなので、まだ2ヶ月間もあります。対象商品は、レザックシリーズの『レザック66・レザック75・レザック80 つむぎ・レザック82 ろうけつ・レザック96 オリヒメ』の5種類になります。要するにレザックとついているものすべてです。

また、製品サンプルを提供して下さったお客様には、通常の景品のほかにゴルフボールを進呈させていただきます。遠慮なされないでどんどん提供していただきたいと思っております。



また、見本帳や、サンプルをご希望の場合は、スギウラ(株)までご相談下さい。可能な限り対応させていただきます。また、ご説明など必要な場合も遠慮なくおっしゃってください。

記事

ただいまレザックシリーズ キャンペーン中

アンケート結果について

エコアクション 21

アンケート結果について

昨年の12月より今年の1月にかけて、お客様にアンケート実施させていただきました。たくさんのお客様のご協力をいただきまして、本当にありがとうございました。

アンケートの内容自体、抽象的であったりお客様の立場からすると不満を言っているようで書きづらかったりと、反省すべき点はたくさんありました。

アンケートの一枚一枚に書いていただいたすべてが貴重な情報です。しかし、本当のことを言えば、一番欲しかった情報は、実際にお客様のことばで書いてくださった文章です。もちろん、選択式の質問も定量データとして、重要な情報源になります。

お客様の言葉で書いてくださった文章は、褒めていただければ、社員全員のモチベーションがとても上がります。また、耳の痛

い内容だったとしても、それを知ることによって業務や対応を改善できます。会社にとっては、大きなプラスになります。結果的にどちらの内容でも、当社にとってはプラスに作用します。また、書きづらい内容にも係わらず書いていただいたお客様の気持ちも汲み取りたいと考えています。

実際に内容を分析して、すぐに対応できるものはすぐに対応して、多少時間のかかるものも、よい対応が取れるように取り組みたいと考えています。これまで以上によいサービスが出来るように努力していきたいと思います。ありがとうございました。

また、アンケート内容に関してご興味がありましたら、集計データはお見せできますので担当営業などにご相談下さい。なおその際、お客様の会社名とお名前は伏せさせていただきますのでご了承ください。



スギウラ株式会社
営業一部
〒370-0006
高崎市問屋町 2-2-8

電話番号
代表
027-361-5808
営業一部
027-361-5734

Fax
027-361-1272

当社 Web サイト
現在、リニューアルにむ
けて、作成中です。



お気付きの点や質問、
疑問などありましたら、
ご遠慮なく営業または、
下記までお問合せくだ
さい。

お問合せ
メールアドレス
sg-takahashi-t
@kamisugiura.co.jp

エコアクション21

当社では、この度エコアクション 21 の認
証取得に向けて取り組むことになりました。
そのきっかけとなったのは、高崎卸商社街
協同組合での環境への取り組みの一環とし
て、エコアクション 21 の認証取得の参加企
業を募集したことです。最終的に組合全体
で 20 社ほど集まり、当社も組合員の一員と
して参加企業の一社になりました。

一月末から認証取得の取り組みが始まり
ました。そして、約半年間かけて研修や運
用訓練などを経てエコアクション 21 の認証
取得を目指します。

エコアクション 21 は、環境省が策定した
ガイドラインに事業者が適合していることを
承認するものです。中小企業にも取り組み
やすく工夫されている認証登録制度です。
ISO14001 よりも取得しやすく初期費用・維
持管理費用ともに低コストになっています。
ISO の場合、初期費用が 90 ~ 120 万円程度
かかります。が、エコアクション 21 は約 25 万
円程度です。維持管理費用も ISO に比べて
おおまかにいって、1/3 程度ですみます。

エコアクション 21 とは、「具体的にどのよう
なことをするのか?」「どんな仕組みなの
か?」「どのようなメリットがあるのか?」とい
ろいろ疑問がでできます。簡単に説明させ
て頂きたいと思います。

まず、「具体的にどのようなことをするの
か?」といいますと、二酸化炭素の排出量、
廃棄物排出量、水の使用量の 3 つを減らし
て環境への負荷を少なくします。そして、そ
の成果を環境活動レポートとしてまとめ取引
先・消費者に公表します。業種により実際の
活動内容は多少異なりますが、当社では電
力の使用量、水の使用量、ガソリン・軽油の
使用量、廃棄物の排出量などの削減に取り
組みます。目標は金額ではなく、あくまで数
量を削減することです。

次に、「どのような仕組みなのか?」とい
いますと、実際の運用は、環境経営システ
ムとしての PDCA サイクルを基本とした仕
組みを作ります。

PDCA は、ご存知の方も多いとは思いま
すが、計画をたてて (Plan)、実施・運用しま
す (Do)。そしてそれを点検し (Check)、見
直していきます (Action)。このサイクルを継
続的にこなっていくのです。

計画 (Plan) は、まず、環境方針として、
進むべき方向性を決めます。次に自社の
環境への負荷をチェックします。現在の水
の使用量、廃棄物や二酸化炭素の排出量
の把握です。そして、環境目標と活動計画
を立てます。具体的な削減の数値目標や
期限などを目標として決めます。そして、具
体的な目標達成手段も決定します。さらに
環境関係の法律の確認もします。

実施・運用 (Do) は、全従業員に環境や
エコアクション 21 の運用に関しての教育・
訓練をおこない実際に運用していきます。
また、環境コミュニケーションとして、自社の
環境活動のレポートを作成してそれを公表
します。

点検 (Check) で運用状況や目標達成状
況を定期的に確認や評価をして改善して
いきます。

見直し (Action) では、代表者が全体的
な取り組み状況を評価し、改善の指示など
を行います。

以上の PDCA サイクルを、会社のいろい
ろな仕組みの中の一つとして機能させま
す。

「どのようなメリットがあるのか?」は、ス
ペースの都合で次回のニュースレターで説明
いたします。

……つづく